

「生成AIサービスを活用した業務効率化委託業務」に関する質問への回答

質問番号	項目など	質問内容	回答案
1	仕様書 定量的な利用実績の可視化について(利用者)	仕様書4.1.1 API利用料、使用トークン数などの可視化とありますが、APIの仕組みや課金形態(例: BingSearch、コードインタープリタなど)を正しく把握していなければAPI利用料を意識して使いこなすことが難しいと考えております。利用者が自身の利用状況を定量的に把握できるために、使用トークン数の可視化機能があれば仕様を満たすという認識でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
2	仕様書 定量的な利用実績の可視化について(管理者)	仕様書4.1.3 API利用料の実績データ確認とありますが、APIの仕組みや課金形態(例: BingSearch、コードインタープリタなど)の管理については本プロジェクトの履行および奈良県様の生成AIの安定運用において必須でない機能と認識しております。 ユーザーグループでの利用トークンの実績データの確認機能が仕様を満たすという認識でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
3	仕様書 RAGにおける想定タスクについて	仕様書4.1.4 ①②③④のデータ登録領域とありますが、業務における想定される生成AIの処理タスクがあればご教示いただけますでしょうか。生成AIが実施するタスクによって費用・スコープに影響があることから、本業務において想定している業務の詳細をご教示いただけませんか。 (例) ③庁内会計規定のための領域 ③会計規定等の情報検索、および検索した情報をもとにした問合せの回答作成のための環境	各領域の業務は以下のものを想定しており、具体的には契約後の協議で決定します。 ①類似仕様書(委託業務、工事請負業務)の検索や検索結果を元にした仕様書案の作成補助 ②議会対応における、議会議事録の情報検索、および想定質問や答弁案の作成補助 ③庁内会計規定に係る情報検索、および担当部局への問い合わせ対応の補助や、文書情報を参照した回答や業務フローの提示機能 ④庁内人事規定に係る情報検索、および担当部局への問い合わせ対応の補助や、文書情報を参照した回答の提示機能 また、これらRAG機能の文書生成精度を上げるための工夫等がございましたら提案ください。
4	仕様書 RAGのデータ管理について	仕様書4.1.4 「RAG機能に登録されるデータは階層構造および用途別に整理・分類(グループ化)できる機構を備えるものとし、また回答生成時には利用者が当該用途や分類に応じてRAG領域を選択・切り替え可能であること。」とありますが、RAG機能に登録されるデータはグループ単位・業務単位でのテンプレート共有設定で実施し、用途別に整理・分類(グループ化)することが可能です。こちらの内容で要件に合致していると認識してよろしいでしょうか。	テンプレートが以下を満たすものであれば、要件に合致しております。 ・RAGに登録されるデータが用途ごとに明確に分離管理され、別用途のRAGデータが回答に混ざらないようになっている。 ・RAGに登録されるデータへの参照権限が所属等のグループや業務単位ごとに明確に分離管理され、参照権限の階層分けに自由度がある。
5	審査基準 RAG精度向上の評価項目について	審査基準: 文書生成精度の向上支援 RAGの回答精度向上の工夫のみならず、RAG対象業務における精度向上の具体的な作業内容については、審査基準「文書生成精度の向上支援」の項目にて評価されるものと認識してよろしいでしょうか。	RAG機能の文書生成精度の向上に期待できる内容であれば、お見込みの通りです。
6	仕様書 利用環境の提供スケジュールについて	仕様書6.2 生成AI基盤設計構築については、仕様書4.1.4 RAG機能の①～④のデータ登録領域が完成しており、さらに検証領域を含む10以上の領域において職員が任意のタイミングで新規に作成できる環境があればよいという認識でよろしいで	お見込みの通りです。
7	仕様書 定量的な利用実績の可視化について(利用者)	項番12: 管理者権限でのみの確認できる仕様ですが提案時必須要件でしょうか。	「利用者が自身の利用状況を定量的に把握できるよう、実績データを可視化して表示する」要件のことであれば、ご提案時に必ず説明していただく必要のある項目ではありません。ただし、サービス提供時には必須です。
8	仕様書 サービスの利用想定について	項番15: 「職員一人当たり平均利用トークンを1か月あたり50,000トークンとする。」との記述について、トークン数ではなく文字数で料金体系が設定されたサービスをご提案する場合には、何文字程度の利用を想定されますでしょうか。	一般的なGPT-4oモデルなどの1トークンあたりの文字数に換算してご提案ください。
9	仕様書 プロンプトテンプレートについて	項番26: 今後実装予定の機能でございます。提案時に実装されていることは必須でしょうか。	「プロンプトのテンプレート登録やユーザー間共有などの機能」のことであれば、ご提案時に実装されていることが必須ではございません。ただし、サービス提供時には必須です。
10	仕様書 RAGの参照元情報について	項番51: 元のファイルは破棄しベクトルデータに変換して保管するためDLはできない仕様です。代替案として、参照元情報それぞれにURLのリンクを設定することが可能で、URLにクラウドストレージの格納URLを設定すると元の帳票を確認することが可能ですが、このような運用でも提案可能でしょうか。	可能です。ただし運用上、ベクトルデータベースとクラウドストレージ間の情報の同期ずれが起らないことが前提と捉えております。この点も含め、運用イメージをご提案ください。
11	仕様書 UIについて	項番56: システム全体の表示言語が英語ということでしょうか。それとも、英語での入力に対応可能ということでしょうか。	UIの表示が日本語/英語で切り替え可能なこと、となります。
12	仕様書 ログイン処理について	項番58: 機能がございませんが必須要件でしょうか。	「ログイン認証を一定回数間違えた場合の認証処理制限」のことであれば、なりすまし等の不正アクセスリスクを抑える何らかの仕組みが必要であるとと考えています。
13	仕様書 お問合せ対応について	仕様書の4業務内容⇒4.2.2 職員からの問い合わせ対応の 「生成AIサービスをリリース後、職員からの問合せが想定されるが、事業者側でどのような問合せ対応サービスを実施するか提案書に記載すること」についてご教示ください。 こちらの件については、職員様からの問い合わせを一度デジタル戦略課様で取りまとめの上、事業者へ質問されることを想定されておりますでしょうか？	お見込みの通りです。
14	仕様書 定例会について	仕様書の4業務内容⇒4.3機能向上支援、保守・運用サポートおよび定例について、相互コミュニケーションツールは、メールでのやり取りやTeams環境(奈良県様環境)でのコミュニケーションを想定されていますでしょうか？ 他でご検討されているコミュニケーションツールがあればご教示下さい。	メールおよび一般的なWEBミーティングツールを予定しております。